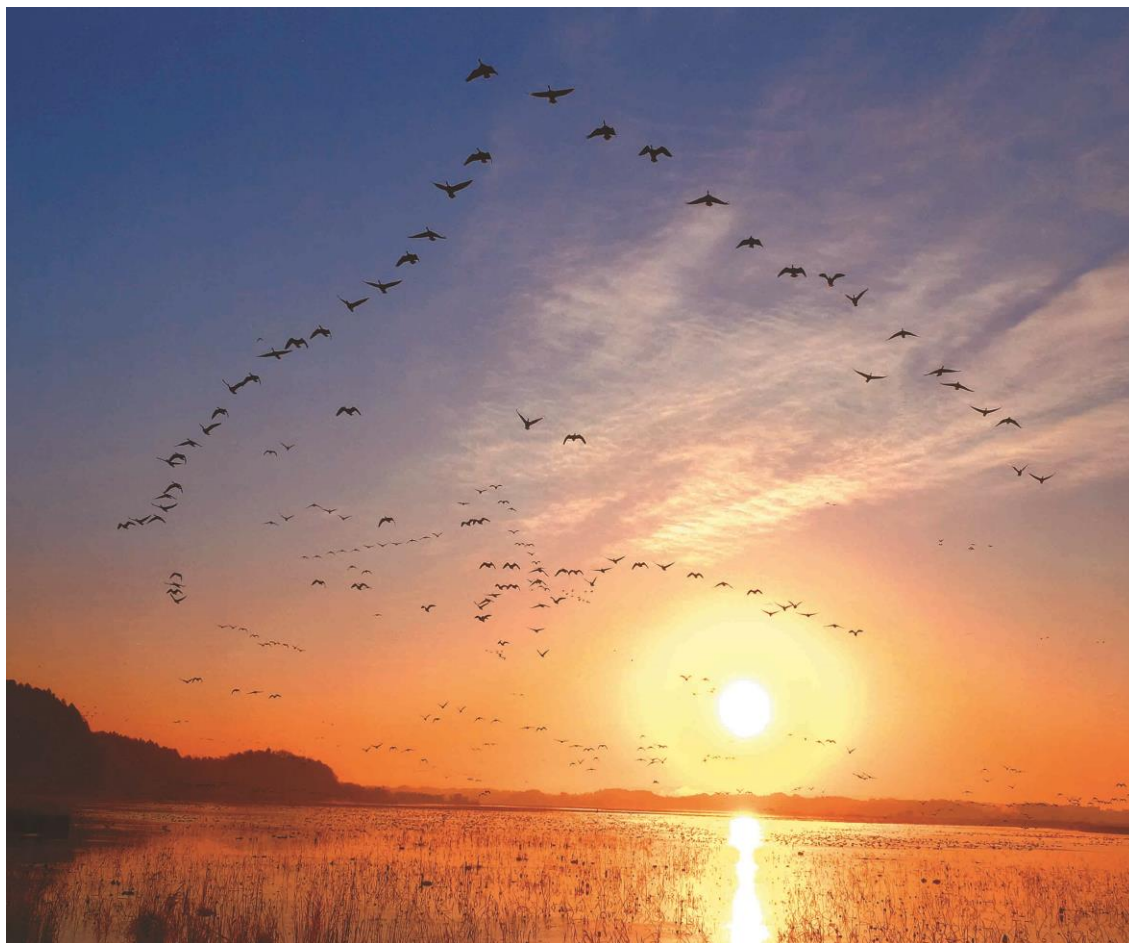


ラムサール条約登録30周年記念

第25回 伊豆沼・内沼自然フォトコンテスト最優秀賞(宮城県知事賞)



「編隊飛行」 山形県 日野 諒 (敬称略)

1月26日(火), 伊豆沼・内沼の自然を題材とした「第25回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト」の結果が発表されました。今回は, 県内外から109名の方々から応募がありました。

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターでは, 2月2日(火)から3月31日(木)まで写真展が開催されます。応募者全員の作品を展示しますので, ぜひ, ご覧ください。

ガンの飛び立ちに感動!

1月16日(土), 第9回伊豆沼・内沼自然体験講座「伊豆沼のガンの飛び立ち観察会」を開催しました。今回は, 伊豆沼西側の堤防でマガンの飛び立ちを観察しました。県内外から19名の方が参加しました。雪の舞う中での観察会になりましたが, 参加者の皆さんは沼で羽を休めているハクチョウや頭上を飛んで行くマガンの群れをカメラで撮ったり双眼鏡で観察したり伊豆沼の自然を楽しんでいました。

今年度の自然体験講座は全て終了しました。平成28年度の日程等については, 5月初旬頃にチラシ・ホームページでお知らせします。



頭上を飛んで行くマガンの群れ



鳥さんがいっぱい飛んでるよ!

伊豆沼・内沼での研修

◆北海道滝川高校

1月8日に北海道滝川高校の生徒さん方が研修に来ました。同校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されており、校外の様々な場所で研修を受けています。朝はマガンの飛び立ちを観察し、その後財団の研究者による講義を受けました。高校生たちは、伊豆沼・内沼の環境から、ザリガニ類の生息の現状、ハイテク技術を用いた魚類の調査手法の話といった実際の現場で使われる最新の知識や技術に触れ、視野を広げる機会となったことでしょう。



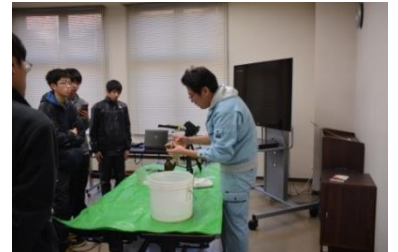
伊豆沼・内沼についての講義



館内の見学



床一面の航空写真に驚く生徒の皆さん



ザリガニを使った実習

◆南相馬市ひばり生涯学習センター

当センターには、各地からさまざまなグループが研修に訪れています。今年一番の冷え込みになった1月17日には、福島県南相馬市のひばり生涯学習センターから親子20名のグループが見学に来られました。当センターとつきだて館の両施設を見学し、遠くロシアから訪れるハクチョウやマガンの生態について学んだり、日本や世界の昆虫の不思議な生態について学びました。手で触れて体感できる展示物では、マガンの重さを体感し、「思ったより軽い！」など、子どもたちの明るい歓声が響きました。



オオハクチョウの大きさにビックリ！

アンテナ付きのオオハクチョウとオナガガモについて

現在、伊豆沼・内沼においてオオハクチョウとオナガガモにGPS発信機を装着して、追跡調査を実施しています。写真のように背中や首にアンテナ付きの発信機が装着されており、アンテナから電波をとばして鳥の位置を特定します。機器の重さや装着箇所は、鳥の動きに影響がないように十分配慮されています。一見、矢が刺さっているように見えますが、鳥の保全のための調査機器ですので、安心して観察して下さい。



オナガガモに装着された送信機



オオハクチョウに装着された送信機

第10回 伊豆沼・内沼研究集会が開催されます！！



今年度も、伊豆沼・内沼研究集会を下記日程で開催します。この研究集会は、伊豆沼・内沼で研究している方々に沼の生物や水質などに関する研究成果の発表の場となっております。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。詳細につきましては、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団までお問い合わせ下さい。

開催日時：平成28年2月20日(土) 13:30～

場 所：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター1階研修室

渡り鳥飛来情報(1/22)

ガ ン 類	65,351 羽
ハクチョウ類	1,132 羽
カ モ 類	2,744 羽
合 計	69,227 羽



〈事務局〉
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izunuma.org/>